

## 【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年2月

### ◇第110回活動:2018年2月11日(日) 午後1時から ヌエック207室

3月23日(金)に予定されている「第27期校友会定期総会」と、総会後の「懇親会」の案内を近日中に送るので、総会の委任状と懇親会の出欠票を速やかに出して下さい」と皆にお願いした。

関矢さんから1ヶ月あまりの入院から1月27日に退院し、歩行器や入浴介護器具を購入して、社会復帰に向けて懸命に頑張っている旨の「病状報告」を、昨日何人かにメール送信。3月一杯まで水彩画クラブを休みますとも報告した。

12月と1/8までの習作作品『裏磐梯の紅葉』と、1/21活動の課題『野ぶどう、数珠玉』を夫々自宅で仕上げた自作品を黒板に並べて、内ちゃん先生の画評をいただいた。

今日の活動から課題写真『上田城址 懐古園のツララ』を描いていきます。課題写真を水張りしたF8のウォーターフォード水彩紙に、明るくした写真の方でツララの形状を見ながらデッサンした。

屋根に積もっている雪の影などは、暗めの写真の方を見ながらデッサンした。

宿題として「ツララ」の白く光っている部位にマスキングしてきた。

1. ツララの光って白く見える部分だけマスキングしてきたが、内ちゃん先生の指示はツララ全体に施すことだった。

従って、ツララ全体へのマスキングを改めて施していく。ツララは滴が垂れて少しずつ伸びていくので、ツララの端両側に筆を端がギザギザに見えるように横線を重ねて表現し、中部分を筆で塗り潰すようにマスキングしていく。

軒瓦の丸い部分との間にもマスキングする。

2. 右側に生えている蔓草の茎や枯れた葉、つる草に着いている雪を、マスキング筆で描くようにマスキングをしていく。マスキングインクを乾かしてから、
  - ① 黄色に茶系の色(赤茶色、焦げ茶色)を混色した枯れ葉色を小筆に取り、枯れ葉部分に擦るように色をおき、直ぐに水筆でぼかしていく。マスキングした枯れた葉っぱは全部に同じように塗っていく。
  - ② ドライヤーで十分に乾かしてから、枯れ葉部分に枯葉を描くようにマスキング筆で描くように施していく。
  - ③ マスキングインクを乾かしてから、①の枯れ葉色に暗い影色(暗青色+焦げ茶色)を混ぜて暗い枯れ葉色をつくり、ドライブラシ技法で枯れ葉部分に色をおいていき、直ぐに水筆でぼかしていく。
  - ④ 右端の軒先まである蔓草辺りは、濃い目の枯れ草色をグリザイユ技法を使って塗っていく。
3. 漆喰壁を塗っていく。
  - ① 汚れたように見える箇所塗る色をつくる。  
黄色と茶系色の混色に、黒っぽい紫色を少し混色する。
  - ② 小筆に汚れ色を取り、課題Bを見ながら着いている汚れ箇所に擦るように色を塗り、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。
  - ③ 黄色に茶系色を少し混ぜた色に、黒っぽい紫色を少し混ぜて水溶きした薄めの色を平筆に取り、漆喰壁全体に塗っていく。左側は薄めに塗っていき、中央部から右側へ少し濃い目に塗っていく。
  - ④ 最後に、濃い目の壁色を小網に筆で塗り、所々に指か筆の柄で叩いて散らしていく。
4. 漆喰壁下の横木に見える筋目と、下部の板壁に見える板と板の境を、濃い焦げ茶の水彩色鉛筆で描いていき、その上をブラウン系影色(暗青色+多目に焦げ茶色)に紫色を混ぜ、少し濃い目に溶いた色を少し控えめに小筆に取り、筆を寝かせながらとんとんと色鉛筆線の上においていく。

※ 午後4時頃になってきたので、ここまでで今日の活動を終了した。

※ 宿題:

- ① 漆喰壁下の横木と下部の板壁を塗ってくる。

漆喰壁を描いてきた要領で所々汚してから、ブラウン系影色に紫色を混ぜた色を平筆に取り、横木には横にサーッと線を引くように塗っていく。下部の板壁は同じ色を平筆で上から下へ筆をサーッと

と動かして塗っていく。

② 軒瓦の丸い部分間に塗ったマスキングインク、ツララの上部2 cm ほどを残して剥いでくる。

## 5. 次回(2月26日(月))の活動予定

右側の蔓草や着いている雪の中、右端上の屋根辺りの濃い部分、屋根上の雪などを描いていく。

※ 4月と5月の活動日を予約した。

月	日	時間	研修室	日	時間	研修室
4月	9日(月)	午後1時~5時	2階/207室	23日(月)	午後1時~5時	1階/109室
5月	8日(火)	午後1時~5時	2階/207室	28日(月)	午後1時~5時	2階/207室

## ◇第111回活動:2018年2月26日(月) 午後1時から ヌエック207室

今日の活動は、課題写真『上田城址 懐古園のツララ』の2回目。宿題として①しっくい壁下の横木と下部の板壁を塗ってくる、②軒瓦の丸い部分間とツララ上部のマスキングは剥がしてきた。

### 1. 軒瓦の丸い部分を描いていく。

- ① 課題写真のAを見ながら、影の濃い部分を黒色の水彩色鉛筆で描くように塗っていく。
- ② しっくい壁下の横木と板壁に塗った色をつくる。  
ブラウン系影色(暗青色+(多目)焦げ茶色)に紫を混ぜて、少し濃い目に溶いておく。
- ③ つくった色を小筆に取り、黒の水彩色鉛筆を塗った部分を塗っていく。  
同じ色で軒瓦を全部塗っていく。
- ④ A写真を見ながら、見えている緑や青、黄色などを小筆で見えているところにチョンチョンとおき、水筆で縦にぼかしていく。
- ⑤ ドライヤーで乾かしてから、紫色を混ぜたブラウン系影色を小筆に取り、写真Aを見ながら黒っぽく見えるところに筆先で擦るようにおき、直ぐに水筆で縦や横にぼかしていく。
- ⑥ 塗った色を乾かしてから、塗ってきた薄めの色にダブルマスキングを施しておく。
- ⑦ 写真Aを見て、影のように濃く見えるところに紫がかかった影色を小筆にとり、色をおいていく。

※ 今日の活動はここで終了したので、次の宿題が出された。

- ① 8本目から残りのツララを、今日教わった描き方で仕上げてくる。ツララは今日描いてきた6本が陽があたっている主役なので、7本目以降右側に暗くなっていくので、くっきりとは描かないように注意すること。  
右側のツララに掛かっているツル草に、ツララを塗る前にマスキングしておくこと。
- ② 右側のツル草に、1日目で描いた枯れ草色(赤茶色+焦げ茶色の混色)を小筆に取り、所々の枯れ葉に塗っておく。
- ③ 右端に大木を描いておく。
- ④ 軒瓦の上に積もっている雪の、影との境い目を線で描くようにマスキングをする。
- ⑤ 屋根雪の所々に見える凹みの下部にも線で描くようにマスキングする。
- ⑥ 右側のツル草、下の方と中程の暗くなって見えるところを、水を少し含ませたスポンジで叩くようにしてぼかし、そこを紫がかかった濃い目のブラウン系影色を筆でおいていき、水筆で板塀側をぼかしておく。

### 3. 次回(3月12日(月))の活動予定

屋根の上の雪に出来た青い影や、右端のツル草に着いている雪やツル草を描き、全体を仕上げていく。